

## とんだぼやし認定調査通信（7号）



### この特記事項の内容についてどう考えますか？

#### 4-4. 昼夜逆転（有無） 【判断に迷う特記事項の例】

ほぼ毎日、夜中に何度も目が覚めることがあり、昼間眠たそうにしている。 「選択 ある」

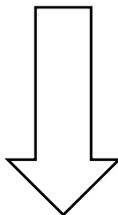
#### 【判断に迷う点(気になる点)】

夜中に何度も目が覚めることによって日中の活動に影響があるのかどうか。

#### 【定義】(調査員テキストより)

「昼夜逆転」とは、夜間に何度も目が覚めることがあり、そのために疲労や眠気があり日中に活動できない、もしくは昼と夜の生活が逆転し、通常、日中に行われる行為を夜間に行っているなどの状況をいう。(夜間眠れない状態やトイレに行くための起床は含まない。)

POINT !



夜に目が覚めるというだけで選択しないように気をつけましょう。

今回の事例では、夜中に何回も目が覚めるという理由から「ある」を選択しているようですが、目が覚めていても日中に活動できない状況がないと該当はしません。  
眠たそうにしていると記載はありますが、それだけでは日中に活動できない状況なのかの判断が付きません。  
また、通常、日中に行われる行為を夜間に行う場合も該当するので、夜間にどんなことをしているのか聞き取ることも重要です。

#### 【わかりやすい特記事項の例】（「ある」の場合）

不安や心配事があり、夜中に何度も目が覚めてしまう。そのため、朝起きることができずデイサービスを休み日中寝て過ごしていることが週に2回程度ある。家族は朝何度も起こしており、対応に困っている。



読み手に伝わりやすい特記事項の記入にご協力をお願いします。

※市町村によって解釈に違いがある場合もありますので、ご注意ください。